

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
情報 I	3	A B C D E F	2	自由選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	最新情報 I（実教出版）
使用教材等	進研WINSTEP 情報 I（Benesse）

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】 情報社会における知識・技能、情報科学分野の知識・技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会における課題解決力及び情報の科学的な考察に資する思考力・判断力・表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の諸問題を主体的に解決しようとする姿勢及び科学的な考察について意欲的に取り組む。
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	全単元を総合的に学び、基礎力を習得する。 第1章 情報社会の問題解決 【知】 ・情報社会に関する法やモラルについて理解する。 ・情報セキュリティの重要性について理解する。 【思】 ・情報の特性を理解し、情報活用を適切に行う。 ・情報社会に関する法制度に基づいて情報社会の諸問題について思考する。 【態】 ・情報社会の諸問題に主体的に取り組み解決方法を考える。 ・情報セキュリティに関心をもち、主体的に取り組む。 第2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知】 ・コミュニケーションにおける諸問題やマナーについて理解する。 【思】 ・情報デザインの特性を理解する。 【思】 ・コミュニケーションの望ましいあり方を考える。 ・好ましい情報デザインを思考する。 【態】 ・メディアの活用やコミュニケーションについて主体的に取り組む。 ・情報デザインを通じて情報社会の発展に向けて取り組む。 第3章 コンピュータとプログラミング 【知】 ・プログラミング言語（DNCL）の基本文法を理解する。 ・基本的な探索や整列のアルゴリズムについて理解する。 【思】 ・DNCLを用い構造化プログラミングを実践する。 ・DNCLを用いて基本的な探索や整列のプログラムを作成する。 【態】 ・プログラミングに興味関心をもち主体的に取り組む。 ・アルゴリズムについて興味をもち効率的なプログラムを組むことに意欲をもつ。 第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 【知】 ・コンピュータネットワークのしくみを理解する。 ・データ分析やデータベースのしくみについて理解する。 【思】 ・より良いネットワークの在り方を技術的に思考・判断する。 ・データベースの正規化など、効率的な運用について思考・判断する。 【態】 ・ネットワークの技術的な課題や進展について主体的に取り組む。 ・データ分析、モデル、シミュレーションの有意性を理解する。	A 情報 I 共通テスト初年度問題 情報 I 共通テスト追試験問題 を用いた演習 B 副教材を用いた基本問題の演習 C 共通テストのプログラミング言語「DNCL」を使用した、基本的なプログラミング演習	第1章 情報社会の問題解決 【知】 ・情報社会に関する法やモラルについて理解できた。 ・情報セキュリティの重要性について理解できた。 【思】 ・情報の特性を理解し、情報活用を適切に行うことができた。 ・情報社会に関する法制度に基づいて情報社会の諸問題について思考できた。 【態】 ・情報社会の諸問題に主体的に取り組み解決方法を考えることができた。 ・情報セキュリティに関心をもち、主体的に取り組むことができた。 第2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知】 ・コミュニケーションにおける諸問題やマナーについて理解できた。 【思】 ・情報デザインの特性を理解できた。 【思】 ・コミュニケーションの望ましいあり方を考えることができた。 ・好ましい情報デザインを思考できた。 【態】 ・メディアの活用やコミュニケーションについて主体的に取り組むことができた。 ・情報デザインを通じて情報社会の発展に向けて取り組むことができた。 第3章 コンピュータとプログラミング 【知】 ・プログラミング言語（DNCL）の基本文法を理解できた。 ・基本的な探索や整列のアルゴリズムについて理解できた。 【思】 ・DNCLを用い構造化プログラミングを実践できた。 ・DNCLを用いて基本的な探索や整列のプログラムを作成できた。 【態】 ・プログラミングに興味関心をもち主体的に取り組むことができた。 ・アルゴリズムについて興味をもち効率的なプログラムを組むことに意欲をもつことができた。 第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 【知】 ・コンピュータネットワークのしくみを理解できた。 ・データ分析やデータベースのしくみについて理解できた。 【思】 ・より良いネットワークの在り方を技術的に思考・判断できた。 ・データベースの正規化など、効率的な運用について思考・判断できた。 【態】 ・ネットワークの技術的な課題や進展について主体的に取り組むことができた。 ・データ分析、モデル、シミュレーションの有意性を理解できた。

2	1学期同様、全単元を総合的に学び、実践力を習得する。	A 情報Ⅰ 共通テスト追試験問題 情報Ⅰ 共通テスト試作問題 を用いた演習 B 副教材を用いた実践問題の演習 C 共通テストのプログラミング言語「DNCL」 を使用した、発展的なプログラミング演習	1学期同様、全単元をの学習状況进行评估する。
3	1, 2学期同様、全単元を総合的に学び、実践力・応用力を習得する。	A 大学入試共通テスト対策の演習 生徒個々の志望校に即した個別学力検査対策の直前演習	【知】 ・受験に対応できる知識が習得できた。 ・【思】 ・学んだ単元を組み合わせ、問題を解決する能力を養うことができた。 ・【態】 ・問題に対して主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、探求する態度を身につけることができた。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。